

Microsoft® Windows Server™ 2003 RUR1 (Service Pack 1) インストール手順書

1. はじめに

本手順書は、下記の対象機種にWindows Server 2003 RUR1 対応 (Service Pack 1) NEC差分FD (RUR W2K3-001a-ISSDS)を正しく適用するための手順書です。

本手順書を必ず一度お読みのうえ、適用してください。

● 対象機種

Express5800/InternetStreamingServer DS (2003年11月以降に出荷された機種)
[N8100-9821/NP8100-981P1/N8100-982/NP8100-982P1]
(以降、「ISS/DS」と呼ぶ)

● インストールに必要なもの

Windows Server 2003 RUR1 (Service Pack 1) をインストールする前に、以下の媒体と手順書がそろっていることを確認してください。

- Microsoft® Windows Server™ 2003 Service Pack 1 (英語版)
(以降、「Windows Server 2003 SP1」と呼ぶ)
- Windows Server 2003 RUR1 対応 (Service Pack 1) NEC 差分 FD (RUR W2K3-001a-ISSDS) ※ISSDS-RUR1.EXE を FD に展開したもの
(以降、「Windows Server 2003 RUR1」と呼ぶ)
- Microsoft® Windows Server™ 2003 RUR1 (Service Pack 1) インストール手順書 (本書)

2. 注意事項

ここでは、**Windows Server 2003 RUR1**を正しくインストールするために、インストールを開始する前に知っておかなければならない注意事項について説明します。インストールを開始する前に必ずお読みください。

● Windows Server 2003 SP1の適用について

前述の対象機種では、Multilingual User Interface Pack (MUI) を使用して日本語化しており、Windows Server 2003 SP1 は、**英語版を適用**する必要があります。

また、Windows Server 2003 SP1 を適用する場合は、必ず本書にしたがって、**専用の Windows Server 2003 RUR1** を使用し適用してください。

● Multilingual User Interface Pack (MUI) および表示言語に関する問題

Windows Server 2003 SP1 には MUI の操作環境に影響を与える更新内容が含まれています。この問題を解決するには、影響を受けるコンポーネント用の MUI がリリースされた後に、その MUI をインストールする必要があります。

- Windows Server 2003 SP1 には、Windows Server 2003 のすべてのバージョン用の Microsoft Windows Media Player 10 とセキュリティ構成ウィザードが含まれています。Windows Server 2003 SP1 をインストールすると、これらのコンポーネントが英語版になります。
- Windows Server 2003 SP1 には、Microsoft ユニバーサル オーディオ アーキテクチャ (UAA) HD オーディオ ドライバのローカライズ版が含まれていません。このため、英語版を代わりに使用することになります。
- Windows Server 2003 SP1 のインストール後、更新された一部のヘルプファイルが英語で表示されます。
- Windows Server 2003 SP1 のインストール後、Windows Media サービス Web アドミニストレータが英語で表示されます。本問題に関する情報については、PPサポートサービスのお問い合わせ窓口、またはNEC担当までお問い合わせください。個別に対応させていただきます。

● ソフトウェアプロダクトについて

ソフトウェアプロダクトによっては、Windows Server 2003 SP1 環境上での動作が保証されていない場合があります。

Windows Server 2003 SP1 の適用の際には、ご利用中のソフトウェアプロダクトのご購入元に必ずご確認していただいたうえで適用くださるようお願いいたします。

なお、NEC から提供しております下記ソフトウェアプロダクトにつきましては、アップデートモジュールの提供または回避策により、Windows Server 2003 SP1 に対応する予定です。

【2005/06/16 現在】

- ESMPro/ServerAgent
- StreamPro/ManagementSystem for Windows Ver2.2
- StreamPro/ManagementSystem Ver3.2
- StreamPro/ManagementSystem Basic for WMT Ver1.1
- StreamPro/ManagementSystem Basic for WMT Ver1.2

Windows Server 2003 SP1 の適用について、注意事項があります。
次のURLのサービスパック関連のページを参照してください。

『NEC 8番街』 <http://nec8.com> → [サポート情報] → [ダウンロード(Express5800)]

詳細情報、最新情報、およびその他プロダクトに関する情報については、お買い上げのNEC販売店、もしくは最寄りのNECまでお問い合わせください。

● Windows Server 2003 RUR1 の適用 について

- **必ずアプリケーションを終了してから**Windows Server 2003 RUR1を適用してください。
- Windows Server 2003 SP1 は単独で適用しないでください。Windows Server 2003 SP1 を適用する場合は必ず **Windows Server 2003 RUR1** を使用してください。
- 既にWindows Server 2003 SP1 が適用されている場合は、Windows Server 2003 SP1 を再適用する必要はありません。
Windows Server 2003 RUR1 のみ適用してください。手順は本書の「Windows Server 2003 RUR1 の適用」手順(5) <Windows Server 2003 RUR1のみを適用する場合>を参照してください。
- Windows Server 2003 RUR1 は、**アンインストール機能はサポート対象外**です。
- **Windows Server 2003 RUR1** 適用前に、システム情報をバックアップすることをお勧めします。

<システム情報のバックアップ手順>—“オフライン保守ユーティリティ” サポートの場合—

システムのセットアップが終了した後、オフライン保守ユーティリティを使って、システム情報をバックアップすることをお勧めします。

システム情報のバックアップがないと、修理後にお客様の装置固有の情報や設定を復旧(リストア)できなくなります。次の手順に従ってバックアップをとってください。

- ① 3.5インチフロッピーディスクを用意する。
- ② 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを本体装置のCD-ROMドライブにセットし、再起動する。

EXPRESSBUILDERから起動して「EXPRESSBUILDERトップメニュー」が表示されます。

- ③ [ツール]—[オフライン保守ユーティリティ]を選択する。
- ④ [システム情報の管理]から[退避]を選択する。

以降は画面に表示されるメッセージに従って処理を進めてください。

- **システムの構成変更(内蔵オプションの取り付け/取り外し)を行った場合は**、本書の「3. Windows Server 2003 RUR1の適用」を参照し**Windows Server 2003 RUR1** を再適用してください。
このときWindows Server 2003 SP1を再適用する必要はありません。

● Windows Server 2003 RUR1適用時の電源・スクリーンセーバに関する設定について

Windows Server 2003 RUR1適用時に以下の設定が有効となっている場合は、処理が中断する場合や正しく適用できない場合があります。各設定を無効(チェックボックスをオフ)などしてからWindows Server 2003 RUR1 を適用してください。

Windows Server 2003 RUR1 適用後に必要に応じて再設定を行ってください。

- ・ スクリーンセーバの設定
- ・ 電源設定 (モニタの電源を切る・ハードディスクの電源を切る)
- ・ 休止状態 (休止状態を有効にする)

● Intel社製 Gigabit Ethernet を使用している場合について

Intel社製 ギガビットLAN を10MbpsでLink-upした場合、システムイベントログ参照時に「イベントログ ファイルが壊れています」という エラーメッセージが表示される場合があります。(MS Hotfix 番号: KB899416)

修正モジュールの入手は、PPサポートサービスのお問い合わせ窓口、またはNEC担当までご連絡ください。

● ESMPRO/ServerAgentを使用している場合について

- Windows Server 2003 SP1 を適用する場合、ESMPRO/ServerAgentのUpdateパッケージを適用して下さい。Updateパッケージは、下記URLからダウンロードできます。

ダウンロード(Express5800)先 URL :

<http://www.express.nec.co.jp/dload/soft/sa/index.html>

公開番号 : 2217000134

タイトル : ESMPRO/ServerAgentUPDATEパッケージ
(Windows Server 2003 SP1 対応)

Web上に上記タイトルより新しい情報が登録されている場合は、最新のバージョンを適用してください。

Windows Server 2003 SP1上で、ESMPRO/ServerManager, ServerAgentを使用する場合の注意事項は下記URLに記載されています。ご利用の際は、SP1適用前に必ず内容をご確認ください。

http://www.sw.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/p_sm/notes_xp.html

- Windows Server 2003 RUR1を適用すると、一部の機種においてWDTおよびShutdown監視の設定値がデフォルトの設定値となります。(機種によっては本機能がサポートされていない場合があります。)

Windows Server 2003 RUR1を適用する前に、WDTおよびShutdown監視の現在の設定内容を確認のうえ、適用後に必要に応じて再設定を行ってください。

下記を起動することによりWDTおよびShutdown監視の設定内容の確認および設定ができます。

コントロールパネル内にあるESMPRO ServerAgent

上記操作の詳細、WDTおよびShutdown監視の詳細に関してはESMPRO/ServerAgent のマニュアル類を参照して下さい。

● StreamPro/ManagementSystem Basicを使用している場合について

Windows Server 2003 SP1 を適用する場合、StreamPro/ManagementSystem Basicの修正モジュールを適用して下さい。

詳細情報および修正モジュールの入手については、下記URLをご覧ください。

http://www.ace.comp.nec.co.jp/StreamPro/streampro_w2k3sp1.html

● SCSI HostRAID/SATA HostRAID/N8103-86(0ch)を利用しているシステムに Windows Server 2003 RUR1を適用する場合について

SCSI HostRAID/SATA HostRAID/N8103-86(0ch)を利用しているシステムに対し、Windows Server 2003 SP1を適用すると、SCSI HostRAID/SATA HostRAID/N8103-86(0ch) の管理ユーティリティである「Adaptec Storage Manager -Browser Edition」(以降、**ASMBE**と略す)のサービスが起動できない現象が発生する場合があります。

本現象はASMBEのバージョンが古い場合に発生しますので、『NEC 8番街』<http://nec8.com> → [サポート情報] → [ダウンロード(Express5800)]より、対象システムを選択し、下記タイトルのアップデートをダウンロードし適用してください。以下のURLからでも参照できます。

ダウンロード(Express5800)先 URL :

<http://www.express.nec.co.jp/dload/iss/DS/index.html>

公開番号 : 2217000021

タイトル : HostRAID(SATA/SCSI)/N8103-86 ディスクアレイコントローラ(0ch)
管理ユーティリティの最新版リリース

なお、Web上に上記タイトルより最新のASMBEが登録されている場合は、最新のASMBEを適用してください。

● SCSI HostRAID を使用している場合について

<SCSI HostRAID 起動可能なアレイシステムの設定>

SCSI HostRAID ご使用の場合はSCSI HostRAIDのBIOSにて、システムを起動するアレイに対し「起動可能なアレイシステムの設定」が必要になります。

重要

本設定を行わない場合は、障害発生時メモリダンプを採取することができない等の問題が発生します。

- ① システムを起動、または再起動したときに以下のメッセージが表示されたら、<Ctrl>キーと<A>キーを同時に押す。

Press <CTRL>< A> for SCSISelect (TM) Utility!

- ② 次に表示されるデバイスメニューで、チャンネルを選択し<Enter>キーを押す。

ヒント

- 必ずアレイが作成されているチャンネルを指定してください。
- 使用されている機種によっては、チャンネルが1つしかないものもあります。

- ③ 「Configure/View HostRAID Settings」メニューを選択する。

ヒント <Options メニューに「Configure/View HostRAID Settings」メニューがない場合>HostRAID の機能が有効になっていません。
そのため、「起動可能なアレイシステムの設定」を行う必要はありません。

- ④ メインメニューでアレイを選択し、<Enter>キーを押し、次に**Bootable**を押す。

ヒント [Bootable]のメニューがない本体装置は設定する必要がありませんので、次へ進んでください。

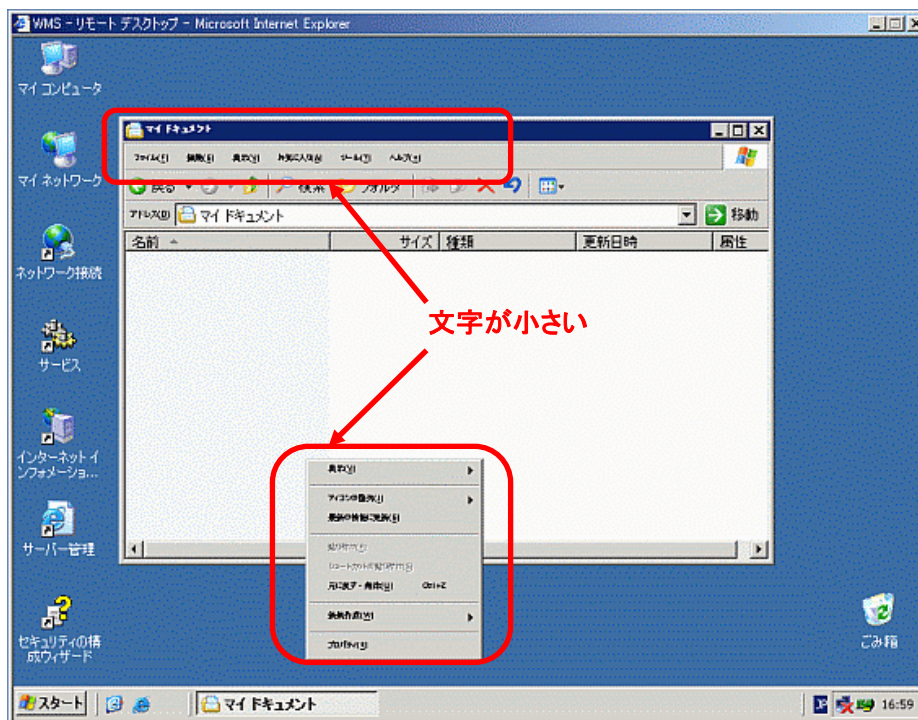
- ⑤ システムを起動するアレイにカーソルを合わせ、Mark Bootableを選択して<Enter>キーを押す。

ヒント Mark Bootable の設定はキーボードのキーを押下することにより設定と解除ができます。

重要 作成したアレイからシステムを起動する場合は、必ず本設定を実施してください。Mark Bootable を選択することにより、SCSI ID の優先順位に関係なく、アレイに起動優先権が与えられます。起動可能なことを示す「B」が、ドライブ ID の横に表示されます。

● フォントサイズが縮小する現象について

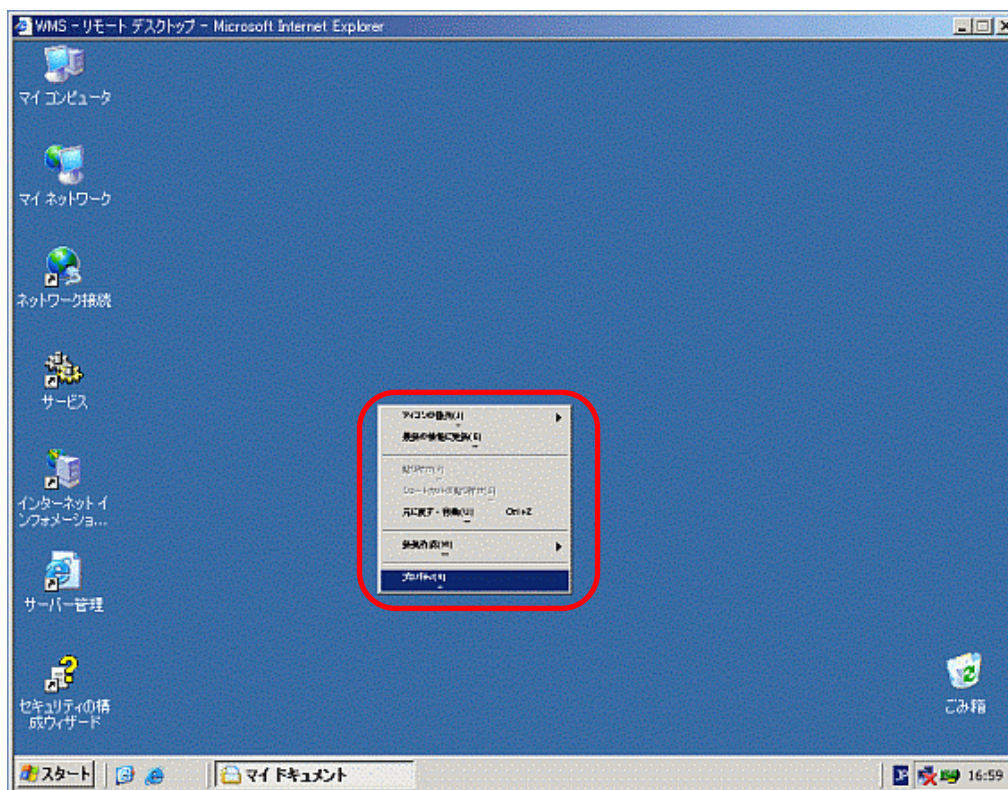
Windows Server 2003 SP1適用環境において、リモートデスクトップ または 本体装置にディスプレイ/キーボード/マウスを接続してログオンし、ウィンドウを伴うアプリケーションを操作していると、タイトルバーやメニューバー、プルダウンメニュー等の文字が小さくなることがあります。



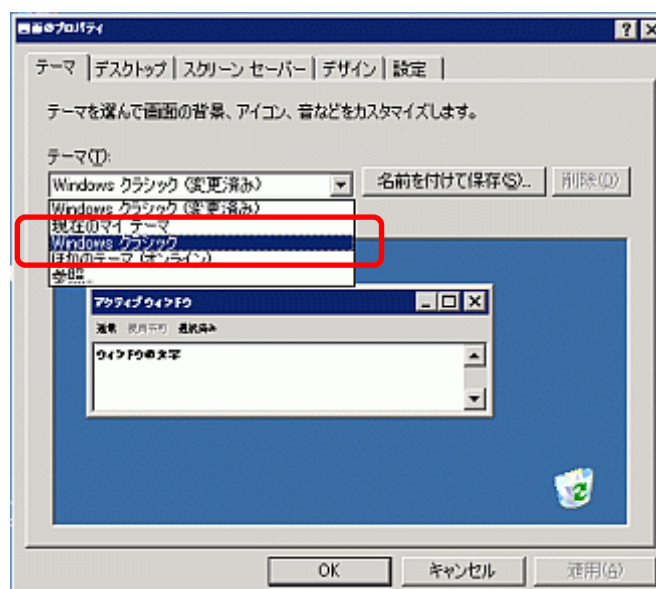
この問題が起きた場合は、以降で説明する回避策にてご対処ください。
※現在調査中であり、本手順は変更される可能性があります。

【回避手順】

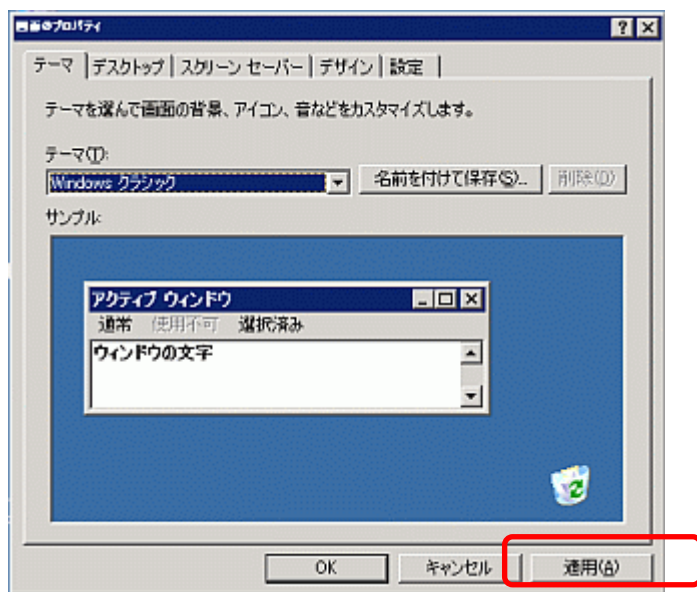
- (1) 背景画面のところを右クリックし、[プロパティ]を選択します。文字が小さくなり過ぎて見えない場合は、一番下の項目を選択します。



- (2) [画面のプロパティ]画面が表示されますので、[テーマ]項目を開いて[Windows クラシック]を選択します。(既に選択されていても、プルダウンメニューを開いて再度選択します。)



(3) [適用]ボタンが有効になったことを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



(4) フォントサイズが正常に戻ったことを確認し、マシンを再起動します。

● Windowsファイアウォールについて

Windows Server 2003 SP1には、これまで搭載されていたセキュリティ機能である ICF (Internet Connection Firewall) から大幅に機能強化されたWindows ファイアウォールが搭載されています。本機能は、Windows XP Service Pack 2 に搭載されたものと同機能で、不正な通信や攻撃からサーバを保護する機能です。

Windows Server 2003 SP1適用直後の設定では、本機能は無効状態となっていますので、既存アプリケーションに影響を与えることはありません。しかし、本機能を有効にして運用する場合、アプリケーションによっては正常な通信が行えなくなり、動作に影響が出る可能性があります。これを回避するには、以下の手順で関連するプログラム/ポート番号をフィルタリング対象から除外するための例外リスト登録を行う必要があります。

【手順】

- (1) [スタート] - [コントロールパネル] - [Windowsファイアウォール]を選択します。
- (2) 「全般」ページで、ファイアウォールが「有効」であり、「例外を許可しない」のチェックが外れていることを確認します。
- (3) 「例外」タブを選択します。
- (4) [プログラムの追加]ボタン、または[ポートの追加]ボタンをクリックし、設定を行います。

ISS/DSでは、サーバ管理/ストリーミング管理のために、以下のプログラムとポートを使用します。

■プログラム一覧

名前	パス
Windows Media サービス	%windir%\system32\Windows Media\Server\wmserver.exe

■ポート一覧

名前	ポート番号	TCP/UDP
サーバ管理用 WebUI	8099	TCP
サーバ管理用 WebUI (SSL)	8098	TCP
WM9S-Plus ポータル	9099	TCP

WM9S-Plus ポータル (SSL)	9098	TCP
WMS Web アドミニストレータ	8080	TCP
WMS Web アドミニストレータ (SSL)	8079	TCP
リモートデスクトップ	3389	TCP

* ご使用になっているもののみ設定を行ってください。

その他、お使いのソフトウェアで必要な設定については、対象製品のマニュアル等を参照して行ってください。

3. Windows Server 2003 RUR1 の適用

ここでは、**Windows Server 2003 RUR1** の適用方法について説明します。

重要 **Windows Server 2003 RUR1** を適用する前に、「Microsoft Windows Server 2003 Service Pack 1 の Web サイト」を参照し、お使いのシステムのディスク容量を確認してください。

- (1) 周辺装置、Express5800 シリーズの順に電源を ON にし、Windows Server 2003 を起動してください。
管理 PC を使用して **Windows Server 2003 RUR1** の適用を行う場合、WebUI の [メンテナンス] - [リモートデスクトップ] を利用し、管理者権限のあるアカウント (Administrator 等) で、ISS/DS にログオンします。

Microsoft 社製 Windows Server 2003 Service Pack 1 CD-ROM をお持ちの場合、(3) へ進んでください。

- (2) Web サイト等からダウンロードした Windows Server 2003 Service Pack 1 を使用する場合、ご使用のシステムの任意のディレクトリに Windows Server 2003 Service Pack 1 をコピーしてください。

ヒント 任意のディレクトリ名に空白を含む文字を指定しないでください。

- (3) フロッピーディスクドライブに、**Windows Server 2003 RUR1** をセットしてください。
Windows Server 2003 RUR1 を遠隔地から適用する場合は、リモートデスクトップで ISS/DS から管理 PC の FD ドライブの共有化を行い、ドライブ文字を割り当てます。その後、管理 PC の FD ドライブに Windows Server 2003 RUR1 をセットします。
- (4) エクスプローラ、コマンドプロンプト等から、**Windows Server 2003 RUR1** 中の **¥RUR¥update.vbs** を実行してください。
以下のダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックしてください。

アップデート準備を開始します。[OK] をクリックし、しばらくお待ち下さい。

- (5) しばらくして、以下のダイアログボックスが表示されます。
メッセージを確認し、[OK] をクリックしてください。
アップデートを中断するには、[キャンセル] をクリックしてください。

Windows Server 2003 RUR 1 対応 (Service Pack 1) 差分 FD の適用を実施します。
作業を中断するなら、[キャンセル] をクリックしてください。継続するなら、[OK] をクリックしてください。途中、画面が数秒間ちらついたり、ファイルの上書きを確認するメッセージが一瞬表示されることがありますが、アップデートは正常に行われます。

【Windows Server 2003 Service Pack 1 が適用されている場合】

以下のメッセージが表示されます。

このシステムには既に Service Pack 1 が適用されています。
Service Pack 1 を再度適用する場合は [はい]をクリックしてください。
NEC 差分モジュールのみ適用する場合は [いいえ]をクリックしてください。
処理を中断する場合は [キャンセル]をクリックしてください。

<再度 Windows Server 2003 Service Pack 1 を適用する場合>

[はい]をクリックし、(6)へ進んでください。

<Windows Server 2003 RUR 1 のみを適用する場合>

[いいえ]をクリックし、(10)へ進んでください。

<処理を中断する場合>

[キャンセル]をクリックしてください。

- (6) 以下のメッセージが表示されます。

Service Pack の適用を行います。
Microsoft 社製 CD-ROM Service Pack 1 をお持ちの場合は、SHIFT キーを押しながら Service Pack 1 の CD-ROM をドライブに挿入し、[はい(Y)] をクリックしてください。
CD-ROM の AutoRun 機能が働いた場合には速やかにポップアップされた画面を終了させてください。ハードディスク上に展開された Service Pack1 を適用するなら[いいえ(N)] をクリックしてください。処理を中断する場合は[キャンセル]をクリックしてください。

<Microsoft 社製 Windows Server 2003 Service Pack 1 CD-ROM を使用する場合>

画面指示にしたがって<Shift>キーを押しながら Windows Server 2003 Service Pack 1 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[はい(Y)]をクリックし、(8)へ進んでください。

<Web サイト等からダウンロードした Windows Server 2003 Service Pack1 を使用する場合>

[いいえ(N)]をクリックし、(7)へ進んでください。

<処理を中断する場合>

[キャンセル]をクリックしてください。

- (7) Windows Server 2003 SP1 をコピーしたディレクトリ名を要求されます。
Windows Server 2003 SP1 をコピーしたディレクトリパスを入力し、[OK]をクリックしてください。

[キャンセル]をクリックすると、(6)に戻ります。

- (8) Windows Server 2003 SP1 のインストールが始まります。
Windows Server 2003 SP1 セットアップウィザードにしたがってインストールをしてください。
なお、この手順内で Windows Server 2003 SP1 のインストールをキャンセルした場合も Windows Server 2003 RUR1 の適用は継続されます。

- (9) 以下のメッセージが表示されます。

Windows Server 2003
Service Pack 1 セットアップウィザードの完了。

Service Pack 1 セットアップウィザードを完了しました。
変更を有効にするには、Windows を再起動する必要があります。
:

[完了]をクリックしてください。
ただし、[完了]をクリックしても、システムは再起動しません。

- (10) **Windows Server 2003 RUR1** の適用が始まります。
ドライバインストール時に、デジタル署名がない事に対する注意ダイアログが表示されることがありますが、システム動作上、問題ありません。[OK]をクリックして続行してください。

- (11) 以下のメッセージが表示されます。

Windows Server 2003 RUR1 対応 (Service Pack 1) 差分 FD の適用を終了しました。
システム中のコンポーネントの変更、または追加を行なったときは、
Windows Server 2003 RUR1 対応 (Service Pack 1) 差分 FD の再適用が必要です。
アップデートされたシステムを実行するには、[OK]をクリックしてください。再起動を行います。

- (12) [OK]をクリックしてください。

- (13) システムを再起動します。
フロッピーディスクドライブのアクセスランプが消えてから **Windows Server 2003 RUR1** を抜き取ってください。

Microsoft 社製 Windows Server 2003 Service Pack 1 CD-ROM を使用した場合は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を抜き取ってください。

Windows Server 2003 RUR1 の適用は、完了です。

以降はメッセージにしたがって作業を進めてください。

重要 SCSI HostRAID を ご使用の場合は SCSI HostRAID の BIOS にて、システムを起動するアレイに対し「起動可能なアレイシステムの設定」が必要になります。
Windows Server 2003 RUR1 の適用後、「**SCSI HostRAID 起動可能なアレイシステムの設定**」を参照し、設定をしてください。
本設定を行わない場合は、障害発生時メモリダンプを採取することができない等の問題が発生します。

4. トラブルシューティング

Express5800 シリーズが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容にしたがって Express5800 シリーズをチェックしてください。
リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理にしたがってください。
それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。



Windows Server 2003 RUR1 適用開始から、終了までに数分間かかる。

- Express5800 シリーズに USB-FD を接続し、Windows Server 2003 RUR1 を適用しようとしていませんか？

→ 時間はかかりますが、Windows Server 2003 RUR1 に問題ありません。
そのまま処理が終了するのをお待ちいただくか、お急ぎの場合は以下の手順で適用してください。

- ① システムドライブ上の任意のフォルダ (C:¥temp) を作成する。
- ② Windows Server 2003 RUR1 のフロッピーディスク内を作成した任意のフォルダにコピーする。
- ③ (C:¥temp)¥RUR¥UPDATE.VBS を実行し、Windows Server 2003 RUR1 を適用する。

以降は、本手順書の「Windows Server 2003 RUR1 の適用」手順(4)を参照してください。